

高次脳機能障害

高次脳機能障害とは、ケガや病気による脳損傷が原因となっておこる認知障害全般を指します。CT、MRI、脳波などの検査のほか、様々な記憶検査等の結果を含めて診断されます。



高次脳機能障害の主症状には、こんな症状があるよ

- 記憶障害**：物の置き場所を忘れる、新しい出来事を覚えられない
同じことを繰り返し質問する、作話や失見当識などがみられる
- 注意障害**：ぼんやりしていてミスが多い、作業を長く続けられない
二つのことを同時に行うと混乱する
- 遂行機能障害**：人に指示してもらわないと何もできない
自分で計画を立ててもものごとを実行することができない
約束の時間に間に合わない
- 社会的行動障害**：思い通りにならないと大声を出す、自己中心的になる
徐々に興奮や暴力など攻撃的行動にエスカレートする

※これらの症状により、日常生活または社会生活に制約がある状態が高次脳機能障害です。

高次脳機能障害と診断されたら適切な時期に専門的な訓練を受け、高次脳機能障害による問題点に気づくこと、それに対する効果的な対応方法を具体的に身につけることが大切です。訓練は医学的な訓練だけではなく、社会生活や職業生活などを試せるような訓練で自分の状態を知り、社会で支障なくやっていくための支援を受けることが大切です。



医療や福祉で使える制度があるよ

障害者手帳 高次脳機能障害と診断され生活に支障をきたしていれば、器質性精神障害として障害者手帳または精神障害者保健福祉手帳の申請ができます。

※お問い合わせ先はお住いの区の区役所福祉課または支所区民福祉課になります。

障害年金 要件を満たしていれば、「障害年金の診断書（精神の障害用）」によって障害年金の申請対象となります。

※お問い合わせ先はお住いの区の区役所保険年金課、支所区民福祉課または年金事務所になります。

介護保険 脳血管疾患が原因の40歳以上の高次脳機能障害の方は、特定疾病として介護保険の申請ができます。

※お問い合わせ先はお住いの区の区役所福祉課または支所区民福祉課になります。

その他 自立支援医療、障害者医療費助成などの制度があります。

※お問い合わせ先はお住いの区の区役所福祉課になります。

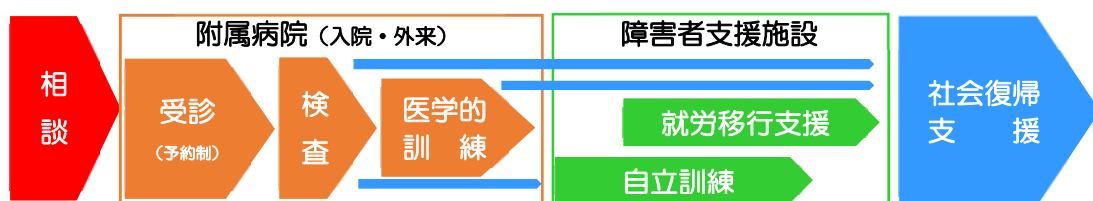


相談先には名古屋市総合リハビリテーションセンターがあるよ。

高次脳機能障害は、外見から分かりにくく周囲から理解されにくいだけでなく、高次脳機能障害のある本人も自身の症状に気づきにくいいため、社会生活を送るうえでさまざまなトラブルが生じやすい状況にあります。

名古屋市総合リハビリテーションセンターは、「高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業」を行う支援拠点機関です。高次脳機能障害の方の相談支援、ネットワークの充実、啓発事業等を行っています。

名古屋市総合リハビリテーションセンターの訓練・支援の流れ



■ 相談

電話で現在困っていることをお伺いし、必要に応じて制度や支援の流れを紹介します。附属病院受診となった方の具体的方針は、受診・検査後に検討していきます。

■ 附属病院 ※受診は初診から完全予約制です。

入院または外来受診で、高次脳機能障害に関する検査を行います。検査結果に基づき、必要に応じて、脳の回復促進訓練を行います。

■ 障害者支援施設

社会生活の自立をめざし、社会復帰に向けた支援を行います。

○自立訓練（障害者総合支援法に基づく自立訓練）（主に入所）

○就労移行支援（障害者総合支援法に基づく就労移行支援）（主に通所）

■ 社会復帰支援

職場、学校、福祉サービス事業所、相談支援機関などの関係機関と連携して、支援コーディネーターが地域生活を支援します。講習会や、地域の研修企画支援、研修講師派遣なども行っています。愛知県内の当事者団体と現状や問題を共有し、解決に向けた活動協力を行っています。



詳しくは「名古屋市総合リハビリテーション事業団」のHPを見てね！

<https://www.nagoya-rehab.or.jp/dysfunction/1002032.html>

<参考>名古屋市総合リハビリテーション事業団「高次脳機能障害のある方へ」
令和5年6月改訂